

パインブリッジ・ユーロ・ライジングスター好利回り債券ファンド 2018-09

(限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付)

愛称：ユーロ・ライジングスター 18-09 新規設定のお知らせ

当社は、2018年9月28日（金）に「パインブリッジ・ユーロ・ライジングスター好利回り債券ファンド 2018-09（限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付）（愛称：ユーロ・ライジングスター 18-09）」を新規設定いたしますので、お知らせいたします。

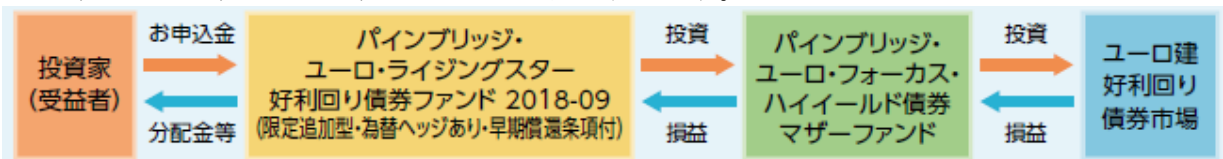
＜ファンドの特色＞

1. パインブリッジ・ユーロ・フォーカス・ハイイールド債券マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、各国の企業が発行するユーロ建の好利回り債券を主要投資対象とします。

※当ファンドにおいて「好利回り債券」とは、格付機関による格付がBB+格相当以下の債券をいい、「ハイイールド債券」といわれることもあります。一般に、好利回り債券は、投資適格債券と比べて信用リスクが高いため、金利が上乘せされる傾向があります。

※当ファンドにおいて「ライジングスター」とは、投機的格付から投資適格格付へ、将来格上げが期待されるまたはパインブリッジ・インベストメントが格上げ期待が高いと判断する銘柄を指します。

●当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。



※ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行う、複数のファンドを合同運用する仕組みをいいます。

2. 2021年9月30日以降、基準価額（支払済の収益分配金を含みます。）が11,000円以上となった場合には、実質的に保有している好利回り債券を売却し安定運用に切り替え、速やかに繰上償還（早期償還）を行います。
3. 実質組入れの外貨建資産については、為替変動リスクを低減させるため、原則として為替ヘッジを行います。
 ※為替ヘッジとは、当該通貨間にある短期金利差（為替ヘッジコスト）を負担することで、為替変動リスクを低減する手段です。為替ヘッジを行うことで、円高が日々の基準価額の下落要因にならないかわりに、円安は基準価額の上昇要因にはなりません。
4. マザーファンドの運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメント・ヨーロッパ・リミテッド(PineBridge Investments Europe Limited)およびパインブリッジ・インベストメント・エルエルシー(PineBridge Investments LLC)に外貨建資産の運用に関する権限を委託します。
5. 年4回（3・6・9・12月の各20日、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、利子／配当等収益（インカム収入）を中心に分配を行います。なお、将来の分配金が保証されているものではなく、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。
 ※第1期の決算は2019年3月20日（水）となります。

【分配のイメージ図】



※上記はイメージ図であり、将来の分配金のお支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

<ファンドの概要>

| | |
|---------|---|
| ファンド名 | パインブリッジ・ユーロ・ライジングスター好利回り債券ファンド 2018-09（限定追加型・為替ヘッジあり・早期償還条項付） （愛称：ユーロ・ライジングスター 18-09） |
| 商品分類 | 追加型／海外／債券 |
| 購入の申込期間 | 当初申込期間：2018年9月3日（月）から2018年9月27日（木）まで 継続申込期間：2018年9月28日（金）から2018年11月30日（金）まで ※当ファンドは限定追加型のため、2018年12月1日（土）以降の購入の申込は受けません。 |
| 設定日 | 2018年9月28日（金） |
| 信託期間 | 2023年9月29日（金）までの約5年 |
| 販売会社 | 委託会社の指定する金融商品取引業者および登録金融機関 |
| 基本方針 | この投資信託は、主として各国の企業が発行するユーロ建の好利回り債券を実質的な主要投資対象とし、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 |
| 投資対象 | パインブリッジ・ユーロ・フォーカス・ハイイールド債券マザーファンドを主要投資対象とします。 |
| 決算日 | 年4回（3・6・9・12月の各20日、休業日の場合は翌営業日） なお、初回の決算日は、2019年3月20日（水）とします。 |
| 収益分配方針 | 毎決算時に、以下の方針に基づいて分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する利子・配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。）の全額とします。 ② 分配金額は、分配原資の範囲内で、基準価額水準、市況動向、運用状況等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ③ 分配金は、原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いします。 |
| 購入価額 | 当初申込期間：1口当たり1円とします。 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| 購入単位 | 販売会社が定める単位 |

<ファンドにかかる手数料等について>

- 購入時に直接ご負担いただく費用
 - 購入時手数料：1口当たり1円（継続申込期間中は購入申込受付日の翌営業日の基準価額）に3.24%（税抜3.0%）の率を乗じて得た額を上限として、販売会社が独自に定めるものとします。
- 換金時に直接ご負担いただく費用
 - 換金時手数料：かかりません。
 - 信託財産留保額：かかりません。
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 - 運用管理費用（信託報酬）：信託財産の純資産総額に年1.4364%（税抜1.33%）の率を乗じて得た額とします。
 - その他費用：有価証券売買時の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の保管費用等（運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
当ファンドの監査費用や印刷等費用（信託財産の純資産総額の年率0.108%（税抜年0.1%）を上限とします。）

※ 費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

<ファンドのリスク>

当ファンドは、主としてユーロ建の好利回り債券（ハイイールド債券）など値動きのある有価証券（外貨建の有価証券には為替変動もあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。なお、当ファンドが有する主なリスク要因として、以下の項目が挙げられます。

- ① 価格変動リスク
- ② 為替変動リスク
- ③ 金利変動リスク
- ④ 信用リスク
- ⑤ 流動性リスク

※当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」等をご確認ください。

お問い合わせは・・・パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
<https://www.pinebridge.co.jp/>
TEL: 03-5208-5858(営業日の9:00~17:00)